

鳴海ヶ丘新聞

第1号
2019年7月
令和元年



～はなさく令和 かがやく栄光 つどいの60th～ えいこうまつり

六月二十九日(土)、すっかり恒例となりました夏のお祭り『栄光まつり』が開催されました。昔ながらの懐かしいあそび、伝統行事、様々な文化芸術を体験したり、当園自慢のなるなる畑でクイズにチャレンジしながら自然を味わっていただいたり…。また、若草会のお母さま方のゲームコーナーや模擬店など、どこ



のコーナーも大盛況でした。ご家族皆様の楽しい夏の思い出の一日となったことでしょう。



うさぎの名前… 「れいら」に決定!



6月上旬、幼稚園に可愛いうさぎさんがやってきました。生まれて数ヶ月の、まだまだ赤ちゃんうさぎ。すぐに子どもたちの人気者になりました。



名前は、栄光まつりで応募を募り、吟味の結果『れいら』に決まりました。早速、「れいらちゃん」と話しかける子どもも多く、子どもたちも納得のお名前のごです。



夏の半日縦割り保育前半の日程が終わりました。プールあそび、体育あそび、お絵描き(粘土、土粘土あそび)。どのあそびも縦割りのお友だちと力を合わせて取り組む内容で、子どもたちは、いつもとは一味違う面白さを味わい、心弾む時間をすごしていました。後半日程の縦割り保育は、プールあそびの他に、砂場あそび、英語の先生とあそぼう、絵の具あそびが登場します。どうぞ、お楽しみに!

ダイナミックなあそびで！
半日縦割り保育

思い出深い夏休み

「自然が与える情報量は膨大で、勉強やスマホと比べて何十倍、何百倍に匹敵します。」と、有名な登山家 三浦雄一郎さんの弁です。もちろん「自然」とは、生の体験であり、屋外ではありません。一学期もとくに人間同士が感動しあう「文化芸術」体験したことを自分で表現する製作や粘土土なども、いつまでも心に形に残る活動でした。夏に向かえば、入道雲や雷、



玉ねぎとごさり!
収穫の醍醐味(七月上旬)



表彰集会 七月十七日(水)

一学期、特に頑張ったお友だちが、かわいいイノシシデザインのメダルを園長先生よりいただきました。メダルをもらったお友だちをモデルに、全園児がいろいろな事に興味を持ち、意欲的に物事に取り組むきっかけになることを目指しています。また、赤組・青組の中から、数名のお友だちが、得意な運動(フリスビー、縄跳び、鉄棒)を発表しました。



虹、セミの声、海や川の動きが見られます。こうした無数の変化を幼児期に体験することは、こどもたちの感覚や感性が大きく磨かれ、生きる力が育ちます。何よりもこども時代は、家族での経験が最も感動し合えます。いよいよ始まる夏休み、「思い出深い夏休み」となるよう、夏の豊かさを全身で感じながらたくさん体験をしましょう。(エコメッセージもお寄せください。)

園長 岡田 勝彦